

<b>藤 田 ゼミ</b>		<b>募集人数</b>	<b>8 名</b>
<b>ゼミ説明</b>	① 12 月 9 日 (火) 12 時 15 分～12 時 30 分 ② 12 月 12 日 (金) 12 時 15 分～12 時 30 分 場所はともに藤田研究室 (2 階、224)		
<b>選考日時</b>	平成 27 年 1 月 9 日 (金) 12 時 15 分		
<b>選考場所</b>	34 セミナー室		

### 選考方法

面接によります (ゼミ生が若干名同席するかもしれませんが、教員が面接・選考します)。自己紹介・自己アピール、問題関心・志望動機などについて、簡潔に話せるように心づもりしてきてください。

何を専門に研究している教員なのか、少しは調べておきましょう。

### 27 年度のゼミ内容、その他

基本的に、教員の専門分野に近いところを学習しますので、1) 経済思想史・経済学史・福祉の経済思想、2) 制度経済学、各国の制度比較、3) 北欧、福祉国家などに関わるテーマを扱う予定です。あとは、ゼミ生の問題関心やその年の問題状況次第で、相談して決めます。

みなさんが入ゼミした場合、第 6 期生になります。これまで毎年 8 人ずつ在籍してきました。どの学科からも来ており、年によって男女比さまざま、就職先も民・公両方です。

ゼミの伝統 (1～3 期生) としては、『アダム・スミス』『ケインズ』『ミュルダールの経済学』の輪読による経済思想史研究から始まり、各自の卒論研究へという流れがありました。25 年度 (4 期生) は、『厚生労働白書』の輪読による日本の社会保障制度の把握に始まり、グループ学習によるプレゼンに取り組みました。26 年度 (5 期生) は経済思想史を集中的に勉強中で、J. S. ミル『自由論』やヴェーバー『権力と支配』の読解、京都・龍谷大学とのゼミ交流 (対決) などを行ってきています。27 年度も、本の輪読と他大学とのゼミ交流は行うつもりです。

個性と学習意欲のある人を望みます。

質問などはゼミ生または藤田まで、遠慮なくどうぞ ([fujita@econ.nagoya-cu.ac.jp](mailto:fujita@econ.nagoya-cu.ac.jp))